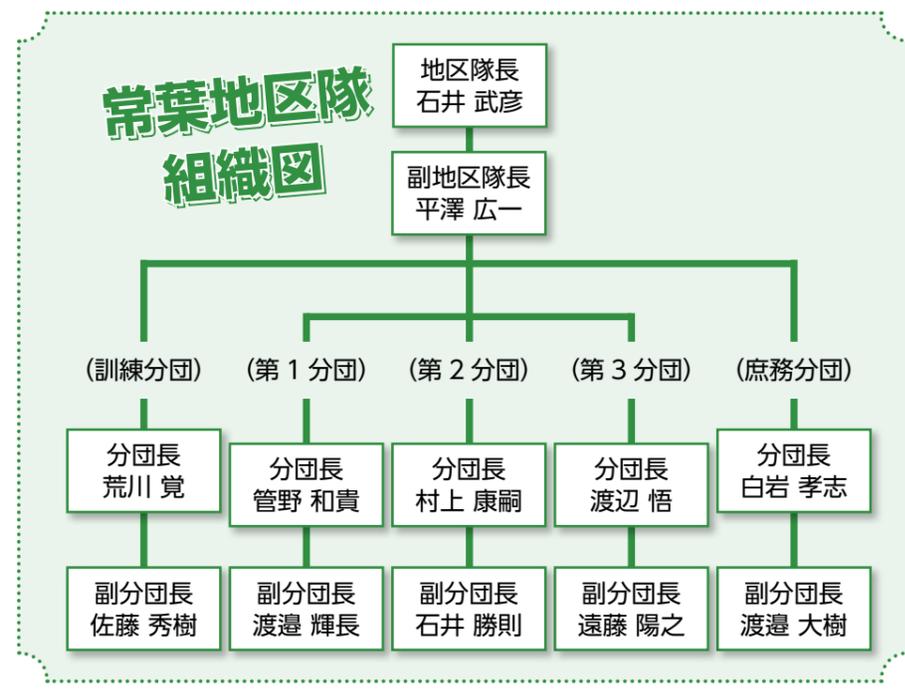




常葉地区隊 火消魂

今回の消防団だよりでは、常葉地区隊を紹介いたします。常葉地区隊は組織の再編成を行い、訓練分団、庶務分団、第1分団、第2分団および第3分



▲常葉地区隊正副分団長以上の集合写真

団の計5分団、総団員数263人の組織となりました。また、車両はポンプ車3台と積載車9台を所有しています。

常葉町大火防火パレード

昭和31年4月17日に常葉町の市街地を襲った大火の記憶を風化させないため、毎年同日に「常葉町大火防火パレード」を行っています。今年度も田村消防署常葉分署に協力いただき、大火被害のあった市街地を中心に消防車両で巡回を行い、火の用心と住宅用火災警報器の設置を呼びかけました。

新入団員・部長訓練

7月18日に新入団員・部長訓練を田村消防署で行いました。訓練に参加した団員はソーシャルディスタンスを保ちながら、機械器具の取り扱いや礼式訓練を実施し、消防団員としての基礎を学びました。また、田村消防署と田村警察署から講師を招き、消防団員としての心得を学ぶとともに、火災防炎意識の向上に努め、自らが地域防炎の要になることを決意しました。

常葉地区隊通常活動

新型コロナウイルスの影響で、消防団の行事の自粛が行っていますが、火災や災害はいつ起こるかは分かりません。コロナ対策をしながら、火災予防活動として定期的に夜警やポンプなどの機械器具の試運転を行っています。

また、大雨などの災害時にも車両による見回りなどを行い、地域防炎の要として日々活動を行っています。

●問い合わせ
常葉行政局
☎77・2111



SAVE MY TOWN 消防団員募集

坪井の備忘録

vol.03

昆虫の楽園に ムシもヒトもあつまれ!

6月21日に、スカイパレスとさわ・ムシムシランド周辺の6か所に、約200本のエノキの植樹を行いました。

「オオムラサキを昆虫の楽園に呼ぼう!」というテーマで呼びかけたところ、7人のボランティアに参加していただき、ムシムシランドスタッフ8人を合わせた計15人で無事に植樹を終えることができました。ご協力いただいた皆さまありがとうございました!

地域おこし協力隊奮闘記
エノキをエサとしている昆虫や鳥は多く、さまざまな生き物が集まります。オオムラサキ、ゴマダラチョウ、テングチョウなどの幼虫やヤマトタマムシはエノキの葉を主食としており、実がなれば、イカルやツグミなどの鳥たちも集まって来ますので、順調に成長していけば近い将来見ることができるようになるかもしれません。今回の植樹は、多くの生き物が殿上山で観察できる環境を作る良い機会になったと思います。



作成：避難地域鳥獣対策支援員

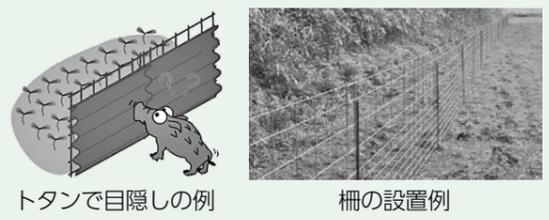
鳥獣被害対策のいろは No.11

侵入防止柵の種類① ワイヤメッシュ柵

農地や住宅を鳥獣被害から守るための柵を紹介します。用途に応じて使い分けましょう。

柵の特徴

ワイヤメッシュ柵は、金属のワイヤーを格子状に組んで溶接したもので、登ることが苦手なイノシシなどの侵入を防ぎます。トタンを立てて、内側にある作物を目隠しすると、より効果的です。



トタンで目隠しの例

柵の設置例

メリット・デメリット

一般的な量販店で購入でき、資材の質が良いのであれば、頑丈で長持ちします。比較的管理は楽ですが、設置の労力はやや大きく、設置後に移動させることは困難です。

管理の方法

草が伸びてくると、イノシシが隠れながら、柵にいたずらをして柵を壊してしまうので、周辺の草刈りが必要です。また、地際にイノシシなどが侵入できるような隙間がないか、定期的に点検しましょう。

田村市有害鳥獣対策協議会からのお知らせ

協議会では、イノシシなどの有害鳥獣による農作物被害の防止・軽減のため、被害防除対策や侵入防止柵の設置・管理等の指導を行っています。有害鳥獣による農作物の被害がある方や、電気柵の設置や管理などでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

☎田村市有害鳥獣対策協議会
(産業部 農林課内) ☎81-2511